

野ねずみに食われにくいグイマツ雑種 F₁

問 グイマツ雑種 F₁ を植えようと思います。この木は、野ねずみに食われないと聞きましたが、野鼠防除は全く必要ないのでしょうか。 (深川市 T 生)

答 事業的に生産されているグイマツ雑種 F₁ はグイマツを母親として、カラマツを父親とした自然交配種です。

このグイマツ雑種 F₁ の耐鼠性は、現在のところ、東京大学北海道演習林の試験結果によって、下表のように位置づけされています。食われにくい順に並べると、グイマツ≧トドマツ>エゾマツ≧グイマツ雑種 F₁ ≧アカエゾマツ ≧ヨーロッパトウヒ>カラマツ、といったぐあいです。

その他の道内の試験研究機関の結果でもグイマツ雑種 F₁ の耐鼠性は両親種の間よりも母親であるグイマツに近いとしています。

これらの報告や、当場の検定林での調査結果からも、グイマツ雑種 F₁ はカラマツよりは、はるかに野鼠に食われにくいといえます。

グイマツとカラマツの耐鼠性の違いは樹皮中の樹脂、タンニンの量とその質の違いによるものではないかと考えられています。

しかし、耐鼠性のあるトドマツでもしばしば野鼠被害が報じられていることから、グイマツ雑種 F₁ が全く食害されないということはありません。

したがってグイマツ雑種 F₁ の造林地でも防除は必要ですが、エゾヤチネズミがそれほど多くないところでは、防除の回数、量ともにカラマツより少なくすむと考えられます。

もっとも、沢ぞいなどのエゾヤチネズミがかなり多い所とか、異常発生年には野鼠防除をカラマツ並にするのが安全でしょう。 (育種科 高橋幸男)

グイマツ雑種 F₁ (苗) の耐鼠性の位置づけ

弱 い ←						→ 強 い					
I		II		III		IV		V		VI	
カラマツ		ヨーロッパトウヒ				グイマツ雑種 F ₁				グイマツ	
				アカエゾマツ		エゾマツ				トドマツ	

(雑種カラマツの生産と利用 北海道林木育種叢書第8集 (1968) から抜粋)